

【果樹】の【積雪】対策について

<12月>

農業経営支援課

【果樹全般】

(1) 予想される被害状況

積雪に伴う枝の折損や棚の倒壊。
積雪に伴う低温被害による枝枯れ。

(2) 事前対策

- ① 枝の分岐点が裂けるおそれのある幼木や高接ぎ樹では、枝葉をまとめて結束したり、分岐部を縄で8の字型に縛っておく。
- ② 棚栽培の果樹においては、枝の棚への固定を確認するとともに、棚の補強を行う。

(3) 事後対策

- ① 結束した枝は、雪が溶けたあと結束部を解いて蒸れを防ぐ。
- ② 枝折れ、枝裂けしたところは切り取り、大きな傷口には塗布剤を塗る。
- ③ 枝が裂けたものは、軽傷であれば縄などでしっかり絞って固定し、回復を図るが、激しい場合は切り取って切り口に塗布剤を塗る。
- ④ 積雪数日後から枝枯れが見られ始め、2週間程度すると症状が固定するが、低温期の枯れ枝の除去は、枯れ込みが進行することがあるので、春に新梢が伸びて緑化が終わったあとに除去する。

【かんきつ類】

(1) 予想される被害状況

果実上の積雪による凍結に伴うす上がりやヤケ。

(2) 事後対策

果皮のヤケ、す上がりなどの発生した果実が出荷物に混入しないように細心の注意を払う。